

## 〔5〕 交通施設用設備

当社では日本の物流を支えるとともに、国際コンテナ戦略港湾にも定められている横浜港（港湾別貿易額ランキング第3位（2023年））へ、特高・高圧受変電設備をこれまで継続的に納入してきた。近年では、自然災害など、予期せぬ事態に対応するため、BCP（事業継続計画）への意識が高まっている。その中でも、安定的な電力供給は重要な観点である。横浜港においても、老朽化した設備の更新や新たな技術の採用など、さらなる安定した電力供給に向けての対策が課題となっている。

本稿では、このような顧客のニーズを取り入れた設備の納入実績を紹介する。

### 5. 1 高圧受変電設備

当社は、横浜港の主要コンテナターミナルである本牧ふ頭D-5ターミナルに高圧受変電設備を納入した（図1）。本設備は、ガントリークレーン<sup>※1</sup>やリーファーコンテナ<sup>※2</sup>、ヤード照明など、港湾運営に不可欠な機器へ安定した電力を供給するための中核的な役割を担っている。

今回の導入における最大の特徴は、構内設備の絶縁劣化や故障を早期に検知する監視システムを組み込んだ点である。これにより、電力供給の信頼性を高めるだけでなく、予防保全の強化による運用コストの低減と安全性の向上を実現した。

また、D-5ターミナルは、耐震強化岸壁や大型ガントリークレーンを備えた重要な国際物流拠点である。当社の設備は、大規模な電力需要に対応するために、効率性と耐久性を重視した設計が採用されている。さらに、将来的なスマート保安や遠隔監視への拡張性を考慮している。横浜港では、荷役機器の電動化などカーボンニュートラルも視野に入れた設備計画が進行中であり、当社は、このような持続可能な港湾運営に貢献していく。

当社は今後も、社会インフラを支える高品質な受変電ソリューションを提供し、安心・安全な電力供給を通じて顧客の事業価値向上に寄与していく所存である。



図1 高圧受変電設備

### 用語集

※1 ガントリークレーン

コンテナ船からコンテナを積み下ろしするために使用される大型のクレーンで、岸壁に沿ってレール上を走行する。高い揚程と広い作業範囲を持ち港湾での荷役作業を支える主要設備である。

※2 リーファーコンテナ

冷蔵・冷凍設備を備えたコンテナで、食品や医薬品など温度管理が必要な貨物を輸送する際に使用される。港湾では、リーファーコンテナ専用の電源設備に接続して、適切な温度を維持しながら保管される。